



町田第二地区 協議会ニュース

笑顔でやさしいまちづくり 《高齢者の見守り事業》



2019年度の高齢者見守り事業では、NPOのご協力をいただき、11月13日(水)及び16日(土)に認知症講演会を開催しました。

講演会では、『知って安心認知症』という町田市の作成したテキストを使い、認知症当事者の方にもご参加いただき、どのような支援があれば生活を継続できるのかを勉強しました。

認知症になっても地域で暮らしていくには、単に認知症の人にやさしい人が多いということではなく、認知症のことをジブンゴトとして捉え、困ったときに寄り添い、そっと手をさしのべてくれる人がいる、困らないような工夫がされていることが重要です。このような地域をめざし、お今後取り組みを進めて参ります。



防犯看板『誰か・見てるぞ!』

《防災・防犯事業》

昨年は町田第二地区内で窃盗等の犯罪が複数発生してしまいました。これを受け、地区全体で防犯への取り組みを進めるため、地区協議会独自の防犯看板を作成しました。

この看板をより有効に使うために、まずは地域の皆さんでお住まいの地区の防犯点検をしていただき、危険な場所を見つけてください。

そのような場所に防犯看板の設置を進めていきたいと考えています。

皆様のご協力をよろしくお願ひします。



下校時のいっせいい見守り 《子どもの見守り事業》

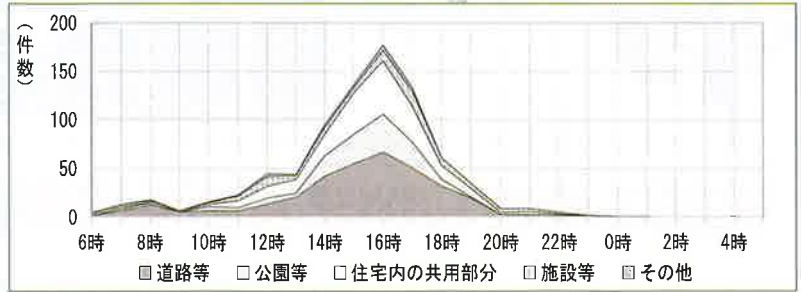
警視庁子ども・女性の安全対策に関する有識者研究会の提言書に未就学児童や小学生が犯罪被害にあう場所・時刻が右のグラフで示されています。

犯罪被害件数は、13時頃から急に増え始め、16時でピークとなり、17時台まで、道路、公園、住宅内の共用部分（エレベーター、廊下、階段や敷地内など）等において高くなっています。この時間帯に見守りや防犯パトロールを行うことが子どもたちの安全確保に繋がります。

町田第二地区協議会では、下校時の見守り活動を広げるため、昨年7月17日、12月11日の午後の下校時いっせいい見守りを実施しました。（3月11日にも予定していましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため学校が臨時休校となったため実施しませんでした。）

子どもたちの安全を確保するために下校時の見守り活動にご協力をお願いします。

発生場所別の被害時刻の状況(未就学児童・小学生)



※ 平成24年から平成28年までに警視庁で認知した件数による。



地区協議会とは

地域住民の生活全般に関わっている町内会・自治会連合会と、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育・福祉・防犯・防災等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い、取り組むべき事業を自ら選択し、実施するための組織です。

町田第二地区協議会構成団体

町田第二地区町内会・自治会連合会、青少年健全育成地区委員会（町田中央・森野・本町田・薬師地区）、民生委員児童委員協議会（町田第一・町田第二地区）、町田第一小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、本町田東小学校、本町田小学校、藤の台小学校、町田第一中学校、薬師中学校、町田高等学校、町田第1・町田第2高齢者支援センター、町田市消防団第1分団、町田市社会福祉協議会、町田デザイン専門学校